

まえがき

弁理士という仕事柄、大手企業の知財担当者、中小企業の知財担当者、総務等と兼任で知財業務を担当されている方、更には社長ご自身が知財業務に当たられている方等々、いろいろな企業の知財担当者とお会いします。そこで、「知財業務の進め方が分からない」といった相談を受けることがよくあります。

知財業務は知的財産を扱うという業務の性質上、秘密裏に、少人数で行われていることが多く、業務内容も専門的で特殊なため、どうしても閉鎖的になりがちです。特に最近はリストラ等の影響で、長年、知財業務を担当していた方が突如退職され、多岐にわたる業務内容の引き継ぎもままならず、後任者が何から手を付ければよいのか分からず、途方に暮れているというケースも多いようです。

そこで、これから知財を担当される方や「知財担当者になったけど、分からないことだらけで困っている」「現在、行っている知財業務は正しいのか不安を抱えている」といった方々のために、「ひとまずこの本だけ読んでおけば何とかなる」というコンセプトの下、知財業務のノウハウ本として本書を書かせていただきました。

もっとも、「知財業務をもっと深く知りたい」「各法制度について詳しく勉強したい」という方からみれば、本書の内容は物足りないかもしれません。より詳しく知財を学びたいという方は、適宜、専門書等で知識を補充してください。

また、本書は、著者が考える「理想的な知財担当者像」をイメージしながら記載していますが、企業規模や業種、経営者の考え方などから、知財担当者の業務権限が制限されることもあるかと思います。そうした場合、本書の内容をご自身に与えられた権限の範囲内へと落とし込み、咀嚼して実践していただければ幸いです。

なお、第3版では「Ⅴ 不正競争防止法」及び「Ⅷ IP ランドスケープ」を新たに追加し、第2版の内容を一部修正しています。

令和7年11月 大石 憲一

目 次

まえがき

I 総論

1. 知財担当者の心構え……1
2. 事業と知財の関係……3
3. 知財活動（知財業務）の中身……6

II 特許・実用新案

1. 特許制度に関する事例……13
2. 特許制度の概略……16
3. 出願書面、中間書面、特許公報等……22
4. その他の特殊な出願制度……33
5. 実用新案制度の概略……35
6. 権利化後の効力……37
7. 特許公報の読み方……43
8. 特許調査……57
9. 発明発掘……61

III 意匠

1. 意匠制度に関する事例……63
2. 意匠制度の概略……66
3. 出願書面、中間書面、意匠公報等……72
4. その他の特殊な出願制度……81
5. 意匠権の効力……82
6. 意匠の類似……83

7. 意匠の類否判断……84
8. 意匠権の効果的な使い方……87

IV 商標

1. 商標制度に関する事例……89
2. 商標制度の概略……92
3. 出願書面、中間書面、商標公報等……99
4. その他の特殊な出願制度……108
5. 商標権の効力……109
6. 商標の類似（禁止権の範囲）……113
7. 商標権の権利行使の制限……115

V 不正競争防止法

1. 総論……119
2. 周知な商品等表示の混同惹起行為……120
3. 著名な商品等表示の冒用行為……121
4. 商品形態を模倣した商品の提供行為……121
5. 営業秘密の侵害行為……122
6. 信用毀損行為……124

VI 契約

1. 契約業務の担当部門……125
2. 契約業務を行う前に……125
3. 契約とは……129
4. 契約自由の原則……130
5. 契約書……130
6. 秘密保持契約……135
7. 共同開発契約……138

8. 共同出願契約……140
9. 契約業務のまとめ……143

VII 紛争対応

1. 紛争対応業務……145
2. 知財紛争……145
3. 解決手段……146
4. 警告書及び回答書……151
5. 紛争対応業務のまとめ……161

VIII IP ランドスケープ

1. IP ランドスケープとは……163
2. IP ランドスケープが求められる時代背景……165
3. IP ランドスケープを導入している企業……165
4. IP ランドスケープの手法……166
5. IP ランドスケープを行うための組織・体制作り……168
6. 私の所感……169

IX 経営層への対応（アプローチ）

1. 経営層の知財意識……171
2. 知財リスクの認識……171
3. 知財制度に関する知識の勘違い……173
4. 現状事業における自社リスクの顕在化……174
5. 具体的な対策……175
6. 反応がない場合……176

X 特許事務所との関係作り

1. 特許事務所とは……177
2. 特許事務所との関係……180

3. 特許事務所の活用方法……181

4. まとめ……182

XI 他社等との関係作り

1. 孤独な知財担当者……183

2. セミナー・勉強会への参加……183

3. 発明協会等の団体の会員……184

4. 企業間の連絡会……184

5. まとめ……184

索引……187

あとがき……194

著者経歴……195